

製品安全データシート

【 1. 製品及び会社情報 】

製品名	: ABC クリーナー ハイパー
会社名	: (株)エービーシー商会
住 所	: 東京都千代田区永田町 2-12-14
郵便番号	: 〒100 - 0014
電話番号	: 03 - 3507 - 7240
F A X 番号	: 03 - 3581 - 4946
担当部門	: インサル事業部

【 2. 危険有害性の要約 】

GHS 分類




物理化学的危険性

金属腐食性物質：分類出来ない

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	: 区分 5
急性毒性（経皮）	: 分類出来ない
急性毒性（気体）	: 分類出来ない
急性毒性（蒸気）	: 分類出来ない
急性毒性（粉塵・ミスト）	: 分類出来ない
皮膚腐食性／刺激性	: 区分 2
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性	: 区分 1
呼吸器感作性	: 分類出来ない
皮膚感作性	: 分類出来ない
生殖細胞変異原性	: 区分 1
発癌性	: 分類出来ない
生殖毒性	: 区分 1
特定標的臓器／全身毒性 （単回暴露）	: 区分 2（腎臓・中枢神経系・全身毒性） 区分 3（気道刺激性、麻醉性）
特定標的臓器／全身毒性 （反復暴露）	: 区分 1（肝臓） 区分 2（心臓・神経）
吸引性呼吸器有害性	: 区分外
環境に対する有害性	
水生環境有害性（急性）	: 区分外
水生環境有害性（慢性）	: 区分外

GHS ラベル要素

絵表示またはシンボル	:		:		:	
注意喚起語	:	危険				

危険有害性情報 : 飲み込むと有害のおそれ
 : 皮膚刺激
 : 重篤な眼の損傷
 : 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
 : 遺伝性疾患のおそれ
 : 呼吸器への刺激のおそれ
 : 長期にわたる、または反復暴露による臓器障害のおそれ

注意書

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手し、総ての安全注意を読み、理解するまで取扱わない事。

保護衣、保護手袋、保護眼鏡、保護面等を着用する事。
 屋外または換気の良い場所でのみ使用する事

取扱後は良く手を洗う事。

粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しない事

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない事

【対応】

飲み込んだ場合、気分が悪い時は医師の手当を受ける事。

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸し易い場所で休息させる事。

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗浄する事。

眼に入った場合、十分な水で注意深く洗浄する事。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、更に数分間洗浄する事。

速やかに医師の手当を受ける事・

【保管】

施錠して密閉容器中に保管する事。

【廃棄】

内容物/容器を国、都道府県、市町村の関連法規・法令を遵守して廃棄する事。

【3. 組成、成分情報】

単一製品・混合物の区別 : 混合物
 製品の用途 : 洗浄剤
 成分及び含有量
 ・水
 ・アルカリ剤
 ・イソプロピルアルコール
 ・キレート剤
 ・グリコールエーテル系溶剤
 ・抗菌剤
 ・消臭剤

【4. 応急措置】

吸入した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所に移し、速やかに医師の手当てを受ける。
 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染した衣服、靴及び靴下等を脱がせ、触れた部分に多量の水で最低 15 分間洗浄する。速やかに医師の手当を受ける。

- 眼に入った場合 : 直ちに多量の清浄な水で最低 15 分間以上洗眼した後、直ちに眼科医の
手当を受ける。
洗顔の際、まぶたを指で良く開いて眼の隅々まで水が良く行渡るよう
に洗う。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、
更に数分間洗浄する事。
- 飲み込んだ場合 : 清浄な水で口腔を洗浄し、すぐに吐き出させる。
速やかに医師の手当を受ける。

【 5. 火災時の措置 】

- 消火剤 : 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火剤、二酸化炭素、砂、霧状水等
- 特有の危険有害性 : 燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消化作業時
は煙の吸入を避ける。
- 特有の消化方法 : 消化作業は、可能な限り風上から行う。周囲の設備等に散水して
冷却する。関係者以外は、安全な場所に退避させる。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護衣、保護手袋、保護眼鏡、保護面等を着用
する。

【 6. 漏出時の措置 】

- 人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置 : 屋内の場合、処理が終了するまで十分に換気する。
作業時は必ず保護衣、保護手袋、保護眼鏡、保護面等を着用し、
必要に応じ、他の保護具も併用する。
- 環境に対する注意事項 : 漏出物を河川や公共用水域等へ流出させ、環境を汚染しないように注
意する。
- 除去方法 : 少量の場合には、吸着剤（おがくず、砂、ウエス等）に吸着させて
取り除き、残りをウエス、雑巾等で拭き取る。
大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、漏出物を安全な場所に
導いてからドラム缶等に回収する。

【 7. 取扱い及び保管上の注意 】

- 取扱い
- 技術的対策 : 適切な換気を行い、作業時は、適切な保護衣、保護手袋、保護眼鏡、
保護面等を着用する。
- 注意事項 : 火気注意
- 安全取扱い注意事項 : 取扱いは、換気の良い場所で行う。
適切な保護衣、保護手袋、保護眼鏡、保護面等を着用する。
取扱い後は、手や顔等を良く洗い、うがいをする。
- 保管
- 適切な保管場所 : 屋内の通気性の良い場所に密閉容器で保管する。
直射日光や雨水が当たる、或いは湿気のある場所での保管は避ける。
- 安全な容器包装材料 : 製品仕様容器に準じる。

【 8. 暴露防止及び保護措置 】

- 設備対策 : 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置
する。取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄の為の設備を設置する。
- 管理濃度 : 設定無し
- 許容濃度 : 設定無し
- 保護具
- 呼吸器用保護具 : 通常の手扱いは特に必要無し。
- 手の保護具 : 保護手袋
- 目の保護具 : 保護眼鏡

皮膚や身体のプロテクト具 : 長袖作業服
適切な衛生対策 : 取扱い後は、手や顔等を良く洗い、うがいをする。

【 9. 物理的及び化学的性質 】

物理的状态

外觀 : 無色透明液体
臭気 : 僅かに原料臭
PH (25°C) : 12.2 ± 0.5
比重 (25°C) : 1.002 ± 0.02

【 10. 安定性及び反応性 】

安定性 : 通常の取扱いでは、熱、光、衝撃に対して安定である。
但し、40°C以上の高温及び直射日光下での長期放置は品質劣化を
起こすので避ける事。

反応性 : 通常 of 取扱いでは安定である。

避けるべき条件 : 資料なし

避けるべき材料 : 資料なし

危険有害な分解生成物 : 資料なし

【 11. 有害性情報 】

急性毒性

経口 : ラット LD50 : 98000mg/kg (原料資料からの計算値)

経皮 : 資料なし

吸入・ガス : 資料なし

吸入・蒸気 : 資料なし

吸入・粉塵、ミスト : 資料なし

皮膚刺激性・腐食性 : 資料なし

眼刺激性 : 資料なし

呼吸器感作性 : 資料なし

皮膚感作性 : 資料なし

生殖細胞変異原性 : 資料なし

発癌性 : 資料なし

生殖毒性 : 資料なし

特定標的臓器／全身毒性
(単回暴露) : 資料なし

特定標的臓器／全身毒性
(反復暴露) : 資料なし

【 12. 環境影響情報 】

生態毒性 : 資料なし

残留性／分解性 : 資料なし

生体蓄積性 : 資料なし

土壌中の移動性 : 資料なし

その他 : 資料なし

【 13. 廃棄上の注意 】

残余廃棄物 : 【 7. 取扱い及び保管上の注意 】 の項を参照。
焼却する場合、国、都道府県、市町村の関連法規・法令を遵守して
廃棄する。

- 汚染容器・包装
- : 廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた法定廃棄物処理業者へ委託処理する。
 - : 空の汚染容器・包装を廃棄する場合は、内容物を除去後に都道府県知事の許可を受けた法定廃棄物処理業者へ委託処理する。

【 1 4 . 輸送時の注意 】

- 国内法規制 : 消防法等に定められている運送方法に従う。
- 国連分類・国連番号 : 該当しない。
- 輸送の特定の安全対策及び条件 : 堅牢で適切な密閉容器に入れ、輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等が無い事を確認する。
荷崩れの防止を確実にいき、害等法規に従い、包装、表示、輸送を行う。

【 1 5 . 適用法令 】

- 国内適用法
- 化審法 : 該当しない
(特定化学物質、監視化学物質)
- 消防法 : 該当しない
- 労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9 の 494) イソプロピルアルコール (3.0 ~4.0%)
- 化管法 (PRTR 法) : 該当しない
- 毒物及び劇物取締法 : 該当しない

【 注 意 】

記載内容は、当社が現時点で入手出来た最新の資料や情報に基づいて作成していますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。
また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を講じた上でお取扱い願います。
総ての化学製品には未知の有害性があり得る為に、取扱いには細心の注意が必要です。
ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定していただきますようお願い申し上げます。
本製品安全データシートは、新しい情報や知見を入手した時や、法令が改正された場合には追加、訂正される事があります。